

★今週の聖句

あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。

ルカによる福音書24:6

★ ねらい

1. イエス様は十字架にかけられ死なれたが、三日目に復活した。

★ 説教作成のヒント

- ・女性たちが、イエスの納められた墓を「見届けて」帰った（ルカ23：55）のに、墓が空であったと言う驚き。
- ・しかし、彼女たちが墓に来たことはむだではなかった。4節の輝く衣を着た二人の人から、イエスの復活の喜ばしいメッセージが与えられた。
- ・女性たちはこの出来事を弟子たちに伝えたが、当時の女性の地位が低く言ったことを信じてもらえなかったのに加え、使徒たちさえもイエスの復活を考えていなかった（11節「たわ言」と思った）ペトロは確かめに墓へ行くが、驚くばかりで信じるには至っていない。人間の知恵で理解できない「復活」と言う出来事が本当に起こった。

★ 豆知識

- ・1節の香料。当時死体が腐らないように香料を塗るのが習慣だった。木の芳香樹脂などを用いた。
- ・マタイ28：2で「すると、大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、石をわきへ転がし、その上に座ったのである。」とある
- ・墓石は車輪形で、当時、墓荒しを防ぐために用いられた。

★ 説教

みなさんは、大切な人を亡くした経験がありますか。お家の人、親戚、お友達。いつも、身近に話したり遊んだりしていた人が、急にある日いなくなったりしたら、どんな気持ちでしょうね。

今日の聖書は、イエスさまと親しくしていた、そしてイエスさまのお話を聞いて従って来ていた女の人たちが、イエスさまが十字架で死んで、とてもショックを受けて、せめてその遺体に香料を塗るために、お墓に行った時の話です。お墓の入り口の大きな石がはずされ転がしてあって、なんとそこにイエスさまの遺体がなかったのです。女の人たちはびっくりしましたが、二人の天使が現れて「イエスさまは復活した。」と教えてもらうのです。

女の人たちは、「そう言えばイエスさまは復活するとおっしゃってたわ。」と思い出すのです。どんなにうれしかったのでしょうか。そしてこの復活の事を他のお弟子さんに話したのですが、信じてもらえませんでした。確かに死んだ人が復活するなんて人間には信じられない事実です。けれど、イエスさまは、「神様がそのひとり子を、私たちにくださるほどに、この世（私たち）を愛してくださった。」ことの証拠として、十字架にかかって死んだけれど、三日目に復活したのです。これ信じるか信じないかは、私たちの信仰です。天国でイエスさまと先に亡くなった人と再会できることも信じましょう。

★分級への展開

さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□ 1 1 3 番

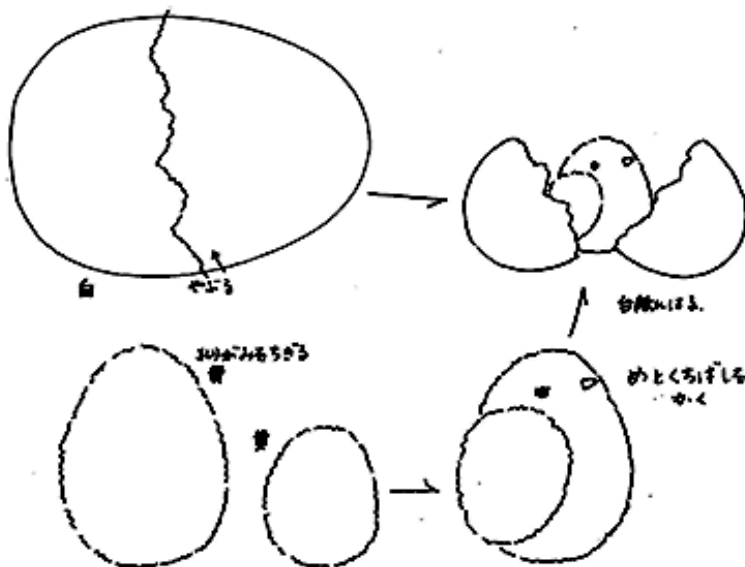
□ 9 1 番（改訂版）

話してみよう

- ・ お墓はどんなところでしょう。
- ・ 亡くなった人をお骨にして閉じ込めるところ。土や石の穴の奥の方へ入れて、石を塞いだところ。
- ・ そんな死んだ人のお墓の中にイエス様を探しますか。
- ・ タマゴは固い殻に包まれています。親鳥が暖めてしばらくすると、中のひよこは自分の力で殻を破って出てきます。復活の朝、イエス様はお墓の中から石をどかして出られました。

やってみよう

- ・ 白画用紙(10cm×12cm)の大きさいっぱいの大きなタマゴをかき、はさみで切り抜く。
- ・ 黄色折り紙で、普通のタマゴの形をちぎり取る。同じようにして少し小さめのタマゴの形をちぎりとり、大きい方はひよこの体、小さい方はひよこの羽にして、はりあわせる。目とくちばしを書く。
- ・ 台紙（色画用紙の茶、青など、B5） 台紙の中央にまずひよこをはり、はさみで切り抜いたタマゴを真ん中から2つに破り、ひよこの両脇に、割れたタマゴのようにはる。
- ・ 上部に「イースター おめでとう」とかけば、イースターカードになります。



★暗唱聖句

道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心  
は燃えていたではないか ルカによる福音書 24:32

★ねらい

1. 復活されたイエス様に会った弟子の喜び。現在の私たちの喜び。

★説教作成のヒント

- ・二人は、一人はクレオパ、もう一人も弟子。両方、イエスの弟子であることに意味を失い、エルサレムを離れて、おそらく故郷と思われるエマオという村に帰る途中。
- ・二人は、イエスと会い、話して、食事をする中で、心が通じ「イエス」だとわかった。
- ・30節「パンを裂いてお渡しになった。」この場面はまさに聖餐の場面

★豆知識

- ・「二人の目は遮られていて」（16節）二人はイエスの十字架の苦しみと死に意義を見出すことが出来ず、悲しみに打ちひしがれて暗い気持ちになっていた。婦人たちの言ったこと（22節）にもまだ半信半疑。
- ・今の私たちは復活したイエスとどのような場で出会えるか。聖書を読む中で出会う。隣人に愛を持って接する中で、イエスのみ心に出会う。聖餐式を行うことで(イエスを記念して行い) 思い出す。などイエス様は、世の終わりまで、私たちと共におられる。

★説教

アンパンマンのこんな歌を知っていますか。

「なんのために生まれて、なにをして生きるのか。

わからないまま終わる、そんなのはいやだ。

忘れないで夢を、こぼさないで涙

だからぼくは行くんだ、どこまでも……。」

確かに、生まれてきて、あと何年か生きていく私たちですが、「こんなふうになりたいな。」とか、持っている夢をかなえていきたいなという希望が少しでもあると楽しいですね。なかったら、生きている時間の意味が空しくなってしまいますね。

今日の二人のお弟子さんは、実はイエスさまを信じて生きてきたのに、イエスさまが十字架で死んだのでショックでガッカリして、もうイエスさまのことを忘れたほうがいいとも思っていました。「復活して生きている。」と言うニュースも信じませんでした。けれど、故郷エマオへ向かう道で、復活したイエスさまご自身が現れて、二人に近づき「昔から言い伝えられている救い主のこと」を詳しく話して教えてくれました。その時は、二人はイエスさまとわかりませんでした。後で一緒に食事をしたとき、わかったのです。

私たちも、聖書の中で、イエスさまに出会うことができます。天からいつも見守ってくださっています。あなたの夢も必ず導いてくださいますよ。

★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□ 115 A (B) 番

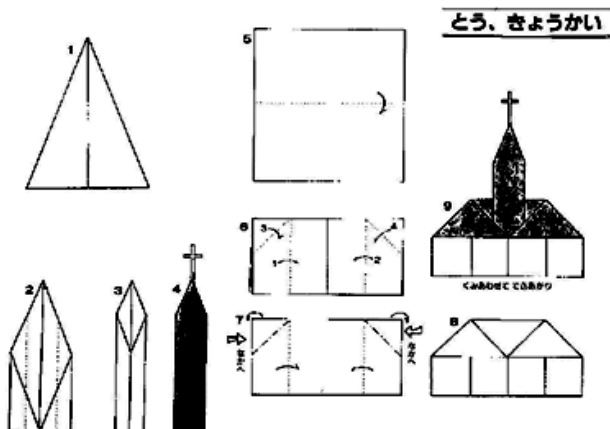
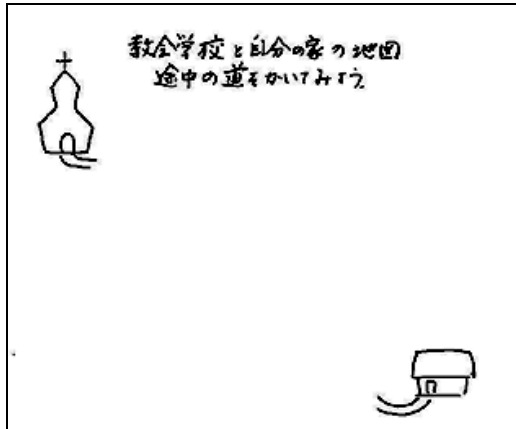
□ 54 番 (改訂版)

話してみよう

- ・ 自分の家から教会学校までどのように来ますか。
- ・ 誰かと一緒に来ますか。
- ・ 途中どんなお話をしますか
- ・ 弟子たちは歩きながらいっぱいお話をきいたのに、その方がイエス様だと気づきませんでした。
- ・ 旅先の宿の食事の時、イエス様はパンを祝福して弟子たちに手渡されました。この時はじめてイエス様が一緒に歩いてくださったのだと分かりました。

やってみよう

- ・ 自分の家、教会を両端にして、途中の道順を書いてみよう。電車やバスを利用する時はその駅や停留所から教会までの道順を書いてみよう。
- ・ 教会堂を折り紙でつくって、その地図を貼ってもいいですよ。(図参照)



★今週の聖句

わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。

ルカによる福音書24:39

★ ねらい

1. 復活したイエス様が、弟子たちに現われた。

★ 説教作成のヒント

- ・「あなたがたに平和があるように」というあいさつは「シャローム（平安あれ）」と言う意味。まさにイエスの約束した（十字架により、あがないの業がなされ、神と人との和解がなしとげられ、人間に「平安」が与えられた。
- ・復活のイエスに出会った弟子たちは、なかなか信じることができず「亡霊」と思う。また41節には「喜びのあまり」信じられなかったとある
- ・39節に手と足をお見せになった。そして43節に焼いた魚を食べた。それは、十字架で死なれたが、復活され、具体的に人間と親しい交わりを持たれたと言うしるし。

★ 豆知識

- ・ヨハネ20：25には「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れて見なければ、わたしは決して信じない。」と言った。人間として当然の言葉だが、同20：29で「見ないのに信じる人は、幸いである。」と言うイエスの言葉が続く。現代を生きる私たちは、この呼びかけに心を開いて信じていこう

★ 説教

イエスさまが、復活されて、弟子たちに現れるようになると、皆いろいろなことを言いました。「信じられないよ。」と笑ったり、「また、うそをいってくだらない。」とか。ヨハネ福音書の20章24節からは、トマスさんと言う人がいて、皆がイエスさまに会ったのに自分だけ会わなかったので、「十字架の釘の跡に指を入れて、わき腹に手を入れないと信じない。」と言いました。イエスさまは現れて、体に触れさせてその通りされましたが「見ないで信じる者は幸い。」と信じることの大切さを話されました。

復活されたイエスさまは天に昇り、私たちは現在地上で見ることが出来ませんが、聖書の言葉や、礼拝を通じて、見ないで信じる事が出来ます。

教会では、「聖餐式」があります。パン（ウエハース）とぶどう酒が一人一人に配られます。これはイエスさまが、「私の記念のために、これを行いなさい。」と言われて、パンはイエスさまの体、ぶどう酒はイエスさまの血を意味します。そして神様の子どもであるイエスさまが「人間」となって、私たちと同じように「食事」を一緒にされたことが記念とされます。それは、今日の聖書の焼いた魚を一切れを、みんなの前でパクパク食べたという出来事が、証明していますね。私たちの生活の中で、一緒に食事をするときほどうれしいことはありません。礼拝で、イエスさまを身近に感じてください。

★分級への展開

さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□115B (A) 番

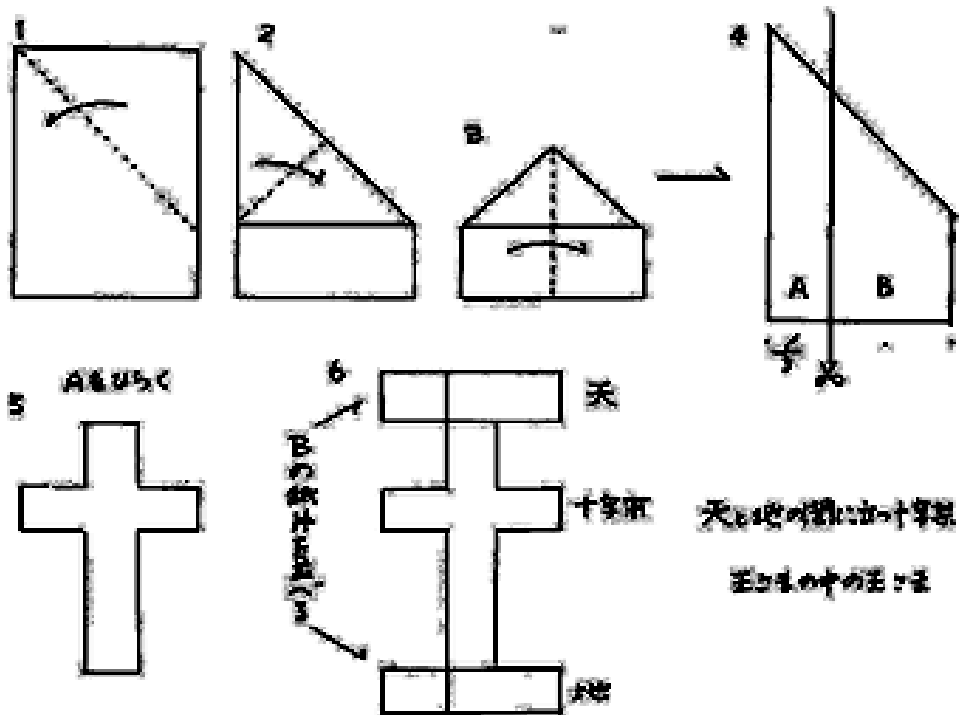
□88番 (改訂版)

話してみよう

- ・ 十字架って何でしょう
- ・ イエス様の十字架について考えましょう。

やってみよう

- ・ A4の白紙を参照図のように折りたたみます。
- ・ 図4の形にして縦に3分の1のところをきります。
- ・ Aの方に開くと「十字架」になります。この十字架にイエス様はかけられました。
- ・ Bの紙片を十字架の上下に並べると「王」になります。
- ・ 上の線が「天」、下の線が「地」、天地の間に立つ十字架は王ですね。  
イエス様は、王さまたちの中の王さまです。台紙にはりましょう。



★今週の聖句

わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従う。ヨハネによる福音書 10:27

★ ねらい

イエス様が、「良い羊飼い」の話をして、自分が本当の救い主であることを伝える。

★ 説教作成のヒント

- ・ユダヤ人がイエスを取り囲んで「メシア」であるのかどうか、詰め寄って来ている。この威嚇に対して、イエスを信じる姿を、羊飼いと羊の信頼関係の話を通して示す。

★ 豆知識

- ・宮清めの祭ともいい、12月に8日間行われる。祭の間、家々にあかりが灯され「光の祭」とも呼ばれる。
- ・イスラエルで、当時、家畜の群れを所有者の子どももよく世話をした。
- ・羊は夕刻には、同一地域のものが一緒に、洞穴やおりに収容され、朝、それぞれの羊飼いに先導されて、牧場に向かう。羊は羊飼いの声を知っており、名を呼ばれるとこれを聞き分ける。

★ 説教

動物にも、名前をつけて、私たちは呼びますが、ある猫はちゃんと自分の名前を知っています。「とら」というのですが、「とらちゃん」「とらすけ」「とらっちょ」と言うと全部「ニャーオ」と答えます。家族の違う名前をとらに向かって「たろう」「じろう」「けいこ」なんて言っても、返事はしません。「とら」と言う音を長い間に覚えたのでしょうね。

今日のイエスさまの羊の話は、「わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。」というお話ですが、当時、羊は群れで飼われていて夜は一緒におりの中に囲われていました。朝になると、それぞれの飼い主が羊を呼んで連れに来るのですが、羊はちゃんと、主人の声を聞き分けて出てくると言います。何人かの羊飼いの中から、「あ、これはご主人の声だ。」と判るんですね。自分をわかって大事にしてくれる。その声には安心があり、信頼しているのですね

今日のイエスさまの回りには、イエスさまをメシア(救い主)として受け入れられないユダヤ人が、詰め寄って来ていました。イエスさまを信頼せず、受け入れない人は、イエスさまを羊飼いとして認めてないので、その声を聞いても(呼ばれても)ついていけないのです。本当の救い主が誰であるか、心かたくなに受け入れないのは残念なことですね。

わたし達は、イエスさまをよく聖書で知り、その真実の教えを覚えて、自分にとって本当に信頼できる救い主であることを学びましょう。また、違う羊飼いについていけないように注意することも大事ですね。聖書の教えを変なふうに変えて、うそを教える宗教もありますから。

★分級への展開

さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□ 4 9 番

□ 1 2 4 番（改訂版）

話してみよう

- ・ 羊のことをしらべよう（羊の写真、絵を集めておく）
- ・ 羊飼いはどんな人でしょう
- ・ 良い羊飼いさんはどんな方でしょう

やってみよう

- ・ 普通紙A4 大きい○(半径 7cm)1個 中○(半径 3.5cm)3個 小○(半径 2cm~)3個をはさみで切り取る
- ・ 図のようにそれぞれ折って組み合わせると、すわった「ひつじ」ができます。
- ・ 共同で9 9匹の羊とまいごの羊をつくって、お話をしてもいいですね。

